

全日本アンサンブルコンテスト四国支部大会審査内規

- 第1条 この内規は、四国支部アンサンブルコンテスト実施規程第14条に基づき、審査および判定について定めるものである。
- 第2条 審査員は7人とし、各県理事長より推薦された候補者の中から常任理事会で選任し、理事長が委嘱する。
- 第3条 判定委員会は、常任理事会がこれにあたる。
②集計委員会は、第二事業部理事がこれにあたる。ただし、代理も認める。
- 第4条 各チームによる演奏の「技術」と「表現」の2項目についてA～Eの5段階で評価し、上下カットを行う。ただし、AとB、BとC、CとD、DとEの中間の評価をする場合もある。
- 第5条 審査結果の集計は、理事長より委嘱された集計係と集計委員がこれにあたり、次の数値に換算して集計する。
- | | |
|--------|---------|
| A | 10点 |
| ・AとBの間 | 9点 |
| B | 8点 |
| ・BとCの間 | 7点 |
| C | 6点 (中位) |
| ・CとDの間 | 5点 |
| D | 4点 |
| ・DとEの間 | 3点 |
| E | 2点 |
- 第6条 集計結果の処理は判定委員会が行う。
判定委員会は、集計結果に基づき得点順に並べ、各団体の得点に顕著な差のあるところで区切り、金賞・銀賞・銅賞の3賞のグループ分けの原案を作成する。
ただし、グループ分けが困難な場合、金賞・銀賞・銅賞の比率は3：4：3を目安とする。
- 第7条 理事長は、判定委員会の上記に基づいて、審査員の意見を聞き、賞を決定する。
- 第8条 全日本アンサンブルコンテストへの四国支部代表の選出は、次の通りとする。
(1) 第4条の各団体ごとの評価の総点の高位から順に代表を選出する。ただし、同一団体からの代表は、1グループまでとする。
(2) (1)で同位の場合には、全審査員に同点団体だけに同位がないように順位をつけてもらい、同点団体だけについて高位多数順として、それでも決まらない場合は審査員長の順位を優先する。なお、審査員長は、審査員の互選とする。
- 第9条 次の項目の違反の場合は、理事長が違反を確認した上で失格とし、審査の対象としない。
(1) 演奏時間の違反。
(2) 演奏者の資格違反。
(3) 出演時間に違反し、運営に支障を生じた場合。
(4) 曲目・出演者数などによる違反。
- 第10条 審査票は、出演団体に渡し、審査一覧表は出演団体に公表することができる。
- 第11条 この内規は、理事会の議決により改定することができる。

- ※ 平成5年4月29日 総会にて一部改定。
- ※ 平成10年4月29日 コンクールの内容変更に伴い、第4条および第5条を改定。
- ※ 平成11年4月29日 B部門の条項をすべて削除。
- ※ 平成12年4月29日 総会にて、第4条および第5条を改定。
- ※ 平成16年4月29日 総会にて、第2条および第4条を改定。
- ※ 平成17年4月29日 全日本アンサンブルコンテスト実施規定改定に伴い、第8条を改定。
- ※ 平成23年4月29日 総会にて、第4条、第5条、第8条を改定。